

第 73 回横浜市港湾審議会議事録

日 時	令和 7 年 12 月 23 日（火） 10：00～ 10：40
開催場所	ロイヤルホールヨコハマ 3 階 セレナーデ
出席者 (24 名)	<p>内野洋次郎委員 (横浜税関長)</p> <p>本馬 恭子委員 (横浜検疫所長)</p> <p>森 信哉 委員 (関東地方整備局副局長)</p> <p>藤田 礼子委員 (関東運輸局長)</p> <p>松川 勝紀委員 (京浜港長)</p> <p>大脇 崇 委員 (公益社団法人日本港湾協会理事長)</p> <p>横内 憲久委員 (日本大学名誉教授)</p> <p>東 幾世 委員 (株式会社 tvk コミュニケーションズ特別顧問)</p> <p>内田 裕子委員 (経済ジャーナリスト／イノベディア代表)</p> <p>河野真理子委員 (早稲田大学法学学術院教授)</p> <p>くしだ久子委員 (横浜市会国際・経済・港湾委員会委員長)</p> <p>伏見 幸枝委員 (横浜市会国際・経済・港湾委員会副委員長)</p> <p>日高 努 委員 (横浜船主会会長)</p> <p>藤木 幸太委員 (横浜港運協会会長)</p> <p>田留 晏 委員 (神奈川倉庫協会会長、横浜回漕協会会長)</p> <p>飯泉 勝也委員 (横浜港湾荷役協会会長)</p> <p>飯塚 利信委員 (京浜海運貨物取扱同業会会長)</p> <p>高宮 成昭委員 (全日本海員組合関東地方支部地方支部長)</p> <p>堀内 秀紀委員 (横浜港湾労働組合連合会中央執行委員長)</p> <p>中村 直樹委員 (全日本港湾労働組合関東地方横浜支部執行委員長)</p> <p>黒田 富治委員 (東京湾水先区水先人会会長)</p> <p>松田 隆彦委員 (ENEOS 株式会社根岸製油所長)</p> <p>西田 吉彦委員 (公益社団法人横浜貿易協会会長)</p> <p>山田比都美委員 (横浜市の住民)</p>
欠席者 (4 名)	<p>加藤 雅道委員 (神奈川県警察本部交通部長)</p> <p>二村真理子委員 (東京女子大学教授)</p> <p>小松 範昭委員 (横浜市会国際・経済・港湾委員会副委員長)</p> <p>藤木 幸三委員 (横浜エゼント会会長)</p>
開催形態	【議題】公開 (報道 1 名／傍聴者 0 名)
議 題	<p>1 横浜港港湾計画の軽易な変更</p> <p>2 令和 7 年度港湾環境整備負担金の負担対象工事の指定</p> <p>(報告) 横浜港港湾脱炭素化推進計画について</p>

決定事項	<p>1 横浜市港湾審議会は、横浜港港湾計画の軽易な変更について、原案のとおり了承する旨の答申を行った。</p> <p>2 横浜市港湾審議会は、令和7年度港湾環境整備負担金の負担対象工事の指定について、原案のとおり了承する旨の答申を行った。</p>
議 事	<p>【議題1】横浜港港湾計画の軽易な変更 事務局から「横浜港港湾計画の軽易な変更」について説明があった後、審議の結果、原案のとおり了承する旨の答申を行った。 質疑、意見は下記の通りである。</p> <p>(森委員より意見) 今回の横浜港港湾計画の軽易な変更のうち、本牧ふ頭のコンテナターミナルに係る部分についてですが、港湾計画等に携わってきた身としては、大変うまく整理をされたと思います。おそらく、水先人の皆様や海上保安庁とも相談の上、国土交通省の本省と調整いただいた結果だと思いますが、国際コンテナ戦略港湾で掲げる大型船を受け入れるという意味でも、非常に大切な施設をうまく整備いただいたということで、非常に良い計画であると考えています。</p> <p>【議題2】令和7年度港湾環境整備負担金の負担対象工事の指定 事務局から「令和7年度港湾環境整備負担金の負担対象工事の指定」について説明があった後、審議の結果、原案のとおり了承する旨の答申を行った。 質疑、意見は特になし。</p> <p>(報告)横浜港港湾脱炭素化推進計画について 事務局から「横浜港港湾脱炭素化推進計画」について説明があった。 質疑、意見は下記の通りである。</p> <p>(藤木幸太委員より質問) カーボンニュートラルへの取組は良いことだと思いますが、付け焼き刃のように取組を進めると、後で取り返しがつかないことになりかねないので、急ぐこととそうでないことのメリハリをつけていただくのが良いと思います。 また、データセンターに関する記載があります。大さん橋ふ頭のミニフロートでは洋上データセンター実現に向けた実証実験が進んでいますが、データセンターの実証実験を行うことにより、ミニフロートは本来の目的では使えなくなるのでしょうか。</p> <p>(事務局より回答) 今回のデータセンターの設置については、今後ミニフロートのような浮体式係留施設上にデータセンターを設置・運用することの可能性について検証することを目的とした、実証実験です。実験にあたっては、安全確保を第一としたうえで、様々な催し物と十分に両立できるよう、関係者の皆様と調整しながら進めていきたいと考えています。また、災害や事故の発生時には、3日以内に実験設備を撤去できるようにしています。</p>

資料等	<p><配付資料></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会議次第 2 横浜市港湾審議会条例 3 横浜市港湾審議会の運営に関する規程 4 横浜市港湾審議会委員名簿 5 港湾環境整備負担金関係法令 6 横浜港港湾計画書（案）－ 軽易な変更 － 7 横浜港港湾計画資料（案）－ 軽易な変更 － 8 横浜港港湾計画の軽易な変更（説明資料） 9 港湾環境整備負担金の負担対象工事の指定について（案） 10 港湾環境整備負担金の負担対象工事の指定に関する付属資料（案） 11 横浜港港湾脱炭素化推進計画（本体） 12 横浜港港湾脱炭素化推進計画（別冊） 13 横浜港港湾脱炭素化推進計画について（説明資料）
議事録 作成担当	港湾局政策調整課 TEL (671) 7165